

一部ルールの撤廃および主催者の裁量による判断についてのご案内

昨年より暫定的に設けてきました、ゴール後、時計がリセットされてから30秒以内にワンちゃんを確保できなければ失格となる、いわゆる30秒ルールですが、30秒の計測が不透明であることをはじめ、欠陥の多いルールのため運用しにくいものとなっております。また、ワンちゃんがスタート台に乗って降りる。は三度目で失格というルールも現状ではスムーズな運営につながっていないと思われまます。

そこで、最終大会直前ではありますが、スムーズな運営に支障をきたす場合や、決勝進出にふさわしいかどうかの扱いにつきましては、細かい文言ではなく、主催者の裁量で判断するルールに集約させていただくことと致します。

こちらは今年の最終大会からの運用となり、もちろん決勝大会にも適応されます。

また、愛犬や周辺の人や犬を委縮させる行為については中部地区大会からお知らせしている通りで継続となります。

二転三転して申し訳ございませんが、ご理解ご協力をいただければと思います。

<1>スムーズな運営

スムーズな運営・進行に支障をきたしたと主催者が判断した参加犬は失格となります。練習会で発生した場合は翌日の地区大会の出走順などが最後になるなどの措置をとる場合があります。

(例) ゴール後に愛犬が放浪し進行を遅らせた場合。スタートができない場合。など。

<2>決勝の権利について

決勝の進出の権利を得ていたとしても、スムーズな運営・進行に支障をきたし「理想的な飼い主と犬の姿を多くの愛犬家に見せる」という決勝大会の理念に合致しないと思われる場合は権利が消失する場合があります。

<3>お願い・愛犬や周辺の人や犬を委縮させる行為について

おもちゃをはじめ、物を愛犬の方向に強く投げつける行為は、当てるつもりのあるなしや当たったかどうかにかかわらず愛犬との信頼関係を損なう行為であり、エクストリームの開催趣意である愛犬との絆を深めることに反します。その時は萎縮させることで動きを止めるなどの効果が見られるかもしれませんが、長い目で見るとデメリットが大きくなります。また、投げる方向を誤ったりバウンドしたりしたときにほかの参加者や愛犬に当たる危険もございます。愛犬に向けて物を投げつける行為は絶対になさらないようお願いいたします。ルールの「06. 失格」の項目に「犬に対して残虐性のある行為や動物愛護の精神に反する行為が見られた場合」にも抵触いたしますので、場合によっては即時失格となる可能性もございますことをご了承ください。